



真岡市議会議員

お世話になります！

中村かずひこ通信

【発行元】 中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4
Tel. 0285-82-6285 e-mail tonpei@i-berry.ne.jp
ホームページ <https://www.nakamurakazuhiko.com>



vol.81



リニューアルしました！

中村かずひこ
ホームページ



ぜひ、
ご覧下さい。

議会での質問の様子が、
インターネットの
録画配信でいつでも
ご覧いただけます。



「見逃した！」という方に
バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、1~80号までを
見逃された方はお気軽にご連絡下さい。こちらからお送りさせていただきます。

次回の「中村かずひこ通信」は
11月5日(日)
新聞の折り込みチラシをご覧ください。

6月定例議会報告 6/12▶6/28

6月定例議会が、6月12日(月)から28日(水)の17日間にわたって行われました。
今回、執行部から提出された議案は、「農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて」や「工事請負契約について」(総合運動公園野球場の夜間照明建設工事)など計27件で、いずれも原案通り可決されました。

一般質問

- 議員による質疑・一般質問は、6月19日(月)、20日(火)の2日間行われ、中村は初日の4人目として、3件の課題について一般質問を行いました。
- 執行部は答弁の中で、◆起業家支援に向けて『創業支援等事業計画』の改定を今年度していく
- ◆市内小中学校のコミュニティ・スクール導入計画を検討するなどの考えを明らかにしました。



(中面に関連記事)

中村が行った一般質問の内容

1.産業分野の諸課題について

- (1)真岡市からの撤退を表明しているホンダへの対応について
- (2)企業の本社機能や研究機関などの移転促進について
- (3)起業家の育成・支援について
- (4)空き店舗の『住居』と『店舗』の機能分離支援について

2.教育分野の諸課題

- (1)学校図書館における専任司書の増員について
- (2)学校給食の無償化について
- (3)コミュニティ・スクールについて

3.高齢者福祉について

- (1)今後の介護予防について
- (2)まちなか保健室について
- (3)移動販売車に対する支援策について



議員在職20年表彰を受けました

この度、中村は全国市議会議長会から『議員在職20年特別表彰』を受け、6月定例議会最終日である28日(水)、櫛毛隆行議長から表彰状が伝達されました。

平成15年の初当選から早20年。ここまで議員活動を続けることができたのは、お支えいただいた全ての皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

『地元を良くしたい!』という思いだけで、市議選に初出馬した時の気持ちを忘れることなく、これからも議員活動に挑んでまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。



全国若手市議会議員の会OB会 副会長に選出されました

8月1日(火)、愛媛県松山市で行われた『全国若手市議会議員の会OB会』(会長:愛知県豊田市 岡田耕一市議、会員215名)の総会で、中村は副会長に選出されました。

全国の仲間達とのネットワークづくりに力を尽くすとともに、メンバー間での切磋琢磨を通じて得たものを、真岡市の政策づくりに還元していきたいと考えております。





中村かずひと議会レポート

6月定例議会 一般質問

質問:中村かずひこ



質問のやりとりが、インターネットの動画でご覧いただけます。

【答弁者】

石坂 真一 市長
山中 孝雄 教育長
仁平 明 健康福祉部長
長谷川佳孝 産業部長
古澤 博之 教育次長

1. 産業分野の諸課題について



質問 令和7年までに真岡市からの撤退を表明しているホンダは、転職を希望する従業員の受入先となる企業を現在募集している。

ホンダの真岡工場には従業員が約700名おり、そのうち**145名前後**が転職する可能性があると会社側では見込んでいる。

対象となる従業員の雇用確保に向けて、**真岡市**としてはどのような対応をしてくのか。

再質問 今後の課題としては、従業員の雇用のほかにも、関連する**地元企業への影響や、将来的な工場跡地の利用方法**などが考えられる。そうした課題について、**真岡市とホンダ**はどのように**コミュニケーション**をとってきたのか。

要望 今、市内企業で話を聞くと、会社経営を苦しめている最大の要因は、人手不足であるという。
市内企業の人手不足解消という面から考えても、真岡市がより積極的に**転職の橋渡し**に関わるべきではないか。
従業員全体のうち地元への転職希望者は**2割程度**である。せめて、その2割は地元、特に**真岡市内で働くように**していただきたい。

質問 コロナ禍以降、**本社機能や研究機関を地方に移転させる都市部の企業**が増えてきた。令和3年には首都圏から地方へ本社機能を移転した企業は**351社**もあった。

真岡市も本社機能や研究機関が誘致できれば、より強固な財政基盤の確立、企業撤退のリスク抑制、そして若者の雇用定着・定住促進につなげられる。以前、**誘致促進のため市独自の支援策創設**を提案したが、どこまで検討が進んでいるのか。

再質問 令和3年に首都圏から地方へ**本社機能**を移転した351社のうち**11社**は**栃木県内**だった。しかし、**真岡市内**に本社機能を移転させた**事例はない**。移転促進のための制度をつくることが重要であると考えるが。

要望 令和3年、**栃木県に本社機能を移転させたのは11社**だったが、**茨城、群馬両県と比較すると半分程度**にとどまっている。
帝国データバンクは、そうした状況について『栃木県は抜本的な対策を講じる必要性がある』と指摘している。
今後、県と市が連携して進めていく取り組み、そして市独自の取り組みといった**重層的な仕掛けが必要**であると考える。

質問 真岡市では、平成26年に『創業支援等事業計画』を策定したのを皮切りに、様々な**起業家支援**に取り組んできた。その結果、この**4年間で39名**が**市内で起業**している。

しかし、ホンダの撤退からも分かるように、本格的な**人口減少時代**の到来により、**産業構造も大きく変化**している。起業家支援はこれまで以上に**急ピッチで進める必要**があると思うが、今後の方針と施策をどのように考えているのか。

要望 真岡市の起業件数は、以前と比べて増加してはいるが、『ご当地ビズ』を開設している**熊本県天草市**は、3年間で約100件の起業があった。
同じ人口規模の両市だが、**起業件数**では**3倍の差**が生じている。

起業を考えている人達が、いつでも相談できる体制をつくると効果も非常に大きくなると思われる。そうした**相談機能の充実化**も、今後の検討課題にしてほしい。

質問 これまで、**空き店舗**の活用が進まなかった要因として、空き店舗の物件の中に、店舗部分と住居部分が混在しているケースが多いことが挙げられる。そうした中、**今年度から**真岡市では、**店舗部分と住居部分の機能分離を支援**する制度を始めた。

今後の課題は、空き店舗の**所有者への周知と働きかけ**であるが、どのように進めていくのか。

再質問 空き店舗の**所有者**は、現在の状況を受け入れている方々が多いと思う。そうした方々に**周知だけ**をしても、活用につながるのか**疑問に感じる**が。

要望 自宅のリフォームは一大決心が必要で、二の足を踏むのもやむを得ない。
しかし、あまり時間をかけ過ぎると、**真岡市内で事業をしたい**と考えている**人材の市外への流出**にもつながりかねない。
だからこそ、関係機関と連携をした**働きかけが今後必要**であると考える。

2. 教育分野の諸課題について



質問 現在、真岡市は**学校図書館に専任司書**を配置しているが、**小学校14校に4名、中学校9校に2名**という状況で、各校を巡回して子ども達の読書指導をしている。

前回質問した際、国の支援を活用して増員を図ることを提案したが、「専任司書を増員しても地方交付税の増額はない」との答弁だった。では、**市独自の財源**で増員してはどうか。**市内全小中学校**に1人ずつ配置しても、**約3,500万円**の増額ができると思われるが。

再質問 全小中学校に専任司書を配置している**宇都宮市や芳賀町**と、図書の貸出冊数で比較すると、**真岡市は2分の1から3分の1**にとどまっており、大きく水をあけられている。真岡市は**この程度で十分**という認識なのか。

答弁 文部科学省の『第6次学校図書館図書整備等5か年計画』において、学校図書館の**専任司書**の配置拡充や図書の更新を進める経費が、**地方交付税**として**毎年措置**される。現在の**算定基準**では、専任司書を増やしても**地方交付税の増加はない**。

学校図書館の貸出冊数や利用者数は、年々増加傾向にある。そのため、現時点で**専任司書の増員は考えていない**。

答弁 他の自治体と比べるのではなく、真岡市内の現状として見た場合、令和元年度から4年度まで、学校図書館の**貸出冊数**や**利用者数**は**微増**ではあるが増えている。

再質問

以前に質問した際『子ども達の読書量は増やしたいが、子ども達の時間は限られている』との答弁だった。しかし、時間が限られているからこそ、**学校図書館の門戸を常に開けておく必要性があるのではないか。**その点は、**文部科学省も指摘**しているが。

答弁 子ども達の**読解力**を育む必要はあるが、それは読書だけでなく、全ての教育活動の中で力をつけていくべきことだと思う。また、各学校では**専任司書と読書ボランティアが協力**して、子ども達が本への興味関心を持つための取り組みを進めているところである。

要望 専任司書などが様々な取り組みをしているというが、その**日数が限られている**ことが問題なのである。**財源**として考えても決して**高額ではない**。子ども達の**読解力、学力向上にも関わる**取り組みであるので、専任司書の増員を前向きに考えていただきたい。

質問 昨今の物価高騰や、各自治体が子育て支援策の充実化を進めている中で、**学校給食の無償化**を実施する自治体が増えてきた。日本農業新聞の調べでは、昨年度は**全国の市区町村の3割近く**に相当する**451の自治体**が、小中学校の給食を無償化したことである。仮に、**真岡市**が学校給食の無償化を実施した場合、**約4億円の経費**が新たにかかる計算になるが、**国の交付金**などを活用すれば、**早い段階で実施**できるのではないか。

答弁 現在、経済的に困窮している世帯に、教育扶助や就学援助制度などにより、給食費を含めた支援を行っているので、**学校給食費の無償化**は**考えていない**。また、昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用し、給食費の値上げ分を補助している。学校給食の無償化に、**国の交付金を活用**することも**考えていない**。

要望 今回の定例議会では、荒川洋子議員や飯塚正議員も**学校給食の無償化**を一般質問で取り上げている。期別で見ると最も長く、政治的立場も異なる3人が、同じテーマを取り上げている意味合いは大きいと思う。**全国ではすでに3割近くの自治体**が実施している。それだけ**社会の関心度、注目度が高い**テーマであると捉えていただきたい。

質問 昨年度から**真岡東中学校**が、**市内初のコミュニティ・スクール**になった。また、**真岡東小学校**も県の事業の**モデル校**になり、今後は両校を中学校区としてコミュニティ・スクールの導入を検討していくとのことである。今後、**他校で導入を図る計画はあるのか**。この取り組みは、教員の多忙感解消、さらには学力向上やいじめ問題解消などにも効果があるとされているが。

答弁 コミュニティ・スクールを導入した**真岡東中学校**では、学校、地域、保護者間による**活発な話し合い**が行われた。また、**学校支援ボランティア**の活動などにより、**学校と地域の連携**が着実に進められている。今後は、学校規模や学区なども十分考慮しながら、市内**小中学校**のコミュニティ・スクール導入計画について**検討していく**。

再質問 **真岡東小学校と真岡東中学校**を、中学校区として1つのコミュニティ・スクールにまとめる考えがあるようだが、両校は**学区として必ずしも一致していない**。スムーズに移行できる見通しはあるのか。

答弁 コミュニティ・スクールは、基本的に**学校ごとに協議会組織を設置する**ものだが、**中学校区を1つのまとまりとして複数の小中学校で設置する**ケースもある。**どちらにするか検討**していく。

再質問 これまで**市内の小中学校**から、**コミュニティ・スクール**の導入に向けての**相談**を受けたことはあったのか。また、今後導入を図る場合も**中学校区単位で同一の組織**をつくる考えなのか。

答弁 **学校側から**コミュニティ・スクールにしたいという**申し出はない**。また、市内の各小中学校は、学校規模や地域性などに特色があり、コミュニティ・スクールの導入方法については、**慎重に検討**する必要がある。

要望 コミュニティ・スクールは、教員の多忙感解消、さらには学力向上やいじめ問題解消などにもつながる取り組みである。教育委員会からも**各校に働きかけ**をしながら、普及を図っていただきたい。加えて、**組織の構築**については、**無理がないような形**で進めていただきたい。

3.高齢者福祉について



質問 真岡市の**介護保険料**は、県内**14市中4番目の高さ**であり、その理由としては、**要介護3~5の割合が高く**、介護サービス費用が高額になっていることが挙げられる。わが国は再来年、**団塊の世代**が全て**後期高齢者**となる**2025年問題**を控えている。社会保障費の増大をいかに抑えていくかは、極めて重要な課題である。今後どのような対策を考えているのか。

答弁 現在、真岡市では**介護予防事業**として、井頭温泉などで**いきいき運動教室**を年間174回、公民館分館などで**いきいき健康塾**を年間79回実施するなど、身近な場所で参加できる事業に取り組んでいる。また、高齢者の生きがい・健康づくりのための**シルバーサロン**や、若い世代から健康への意識を高めるための**ヤング健診**なども実施しており、今後もこうした事業を展開していく。

再質問 答弁の中で挙げられた**事業が行われているにもかかわらず、残念ながら真岡市は、要介護3~5の割合が高い**状況にある。その理由について、担当部署ではどのように分析をしているのか。

答弁 **真岡市の特徴**として、入院などをきっかけに介護の**程度が重くなつてから、介護保険の申請をする**ケースが多いということが考えられる。介護の程度が重くなれば、介護サービスにかかる費用や利用度も高くなる。

質問 **まちなか保健室**は、高齢者が健康チェックや健康相談を気軽にできる施設である。これまで真岡駅東口と田町地区に開設してきたが、**今年度**は新たに**久下田駅前に**開設が予定されている。真岡市は要介護3~5の割合が高い。**予防介護の観点**からも**まちなか保健室**を、**より多くの地域に整備すべき**ではないか。

答弁 **まちなか保健室**は、**自主運営**ができる**一定の日数**を開設でき、さらに市内を回遊する**拠点**となる場所に開設している。開設にあたっては、**地域の協力**が何よりも重要なので、要望があった場合には、意向を聴きながら協議を進めていく。

再質問 これまで、**市から各地域**に対して**まちなか保健室**の開設に向けて、**働きかけや呼びかけ**をしたことはあったのか。また、**地域から**開設の**希望や相談**を受けたことはあったのか。

答弁 **真岡駅前や田町地区**で開設した際には、市から**働きかけ**をしてきた。また、今回開設を予定している**久下田地区**からは、**相談**を受けてきた。

再質問 先ほどの答弁で**回遊できる拠点**との話があったが、**公共交通の見直し**が進められている中で、今後は**住宅地や周辺部**も開設の対象に加わっていくのか。

答弁 誰もが立ち寄りやすく、利用しやすい場所ということで、**現時点では中心市街地**を想定している。

要望 真岡市は、要介護の度合いの高い市民が多く、結果として介護保険料が高い。今後**予防介護**は、特に**力を入れていくべき分野**であると考える。『まちなか保健室』などの施設については、さらに普及を図っていただきたい。

発言 高齢者が立ち寄れる施設は、様々な場所に開設することが理想である。しかし『**まちなか保健室**は、**地域の協力なくして運営できない**。ぜひ、**議員達にも地域への働きかけ**をしていただきたい。

質問 現在、真岡市では、**移動販売車**が運営されている。5月25日付の下野新聞によれば、昨年2月の事業開始から今年3月末までの期間で、**利用者数が1万人を突破**した一方で、**売上高が目標に到達していない**とのことであった。今後、何らかの**サポートが必要**ではないか。

答弁 移動販売車の利用促進に向けて、**チラシを全戸に配布**するとともに、市の広報紙やホームページ、FMもおかなどを活用し、PRに努めている。また、**新たな利用促進策**として、**地域包括支援センター**の職員が販売場所に出向き、簡単な**脳トレ**や**体操**などを実施することも検討している。

要望 移動販売車は、様々な可能性を有している。例えば『**まちなか保健室**を増やし、そこに移動販売車が来るようなことができれば、**予防介護と買い物難民**の課題を**絡めて**取り組むことができるし、高齢者がその場所へ出向く動機づけにもなると思う。今回の一般質問で取り上げた**3件の課題**は、**流入人口や税収を増やし、歳出**の増大が見込まれる部分をいかに**抑制**してくのか述べてきた。ただし、そのためにも今はしっかりと**先行投資が必要**である。



私の政治活動費

この1年間（令和4年5月1日～令和5年4月30日）にかかった私の政治活動費について皆様にご報告いたします。

項目	金額	備考
印刷広告費	1,443,157円	中村かずひこ通信、リーフレット、名刺等
ホームページ更新費	617,856円	リニューアル代含む
書籍・資料購入費	63,305円	書籍代、地図購入費
研修参加費	48,620円	清渓セミナー参加費等
交通費	6,490円	個人で参加した研修の交通費
食糧費	13,000円	飲物代
通信費	56,350円	郵送費
文具費	1,521円	封筒、ノート、ファイル
家屋費	300,000円	事務所家賃
光熱水費	55,150円	水道料、電気料
その他	13,074円	

総額 2,618,523円



皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

※ 詳細に知りたい場合、個人視察時の交通費などを掲載いたしました。

※ なお、過去の政治活動費については『中村かずひこ通信』の1、5、9、13、17、21、25、29、33、37、41、45、49、53、57、61、65、73、77の各号をご参照下さい。

コラム すーむあつぶ

長野県塩尻市に『えんぱーく』という施設がある。この施設は、中心市街地に図書館や子育て支援施設、市民交流スペースなどを複合的に整備したもので、真岡市が現在進めている新庁舎周辺整備事業の計画策定時に参考事例の1つにしていた。

私の所属会派『もおか新時代』が、この施設を視察したのは昨年2月のこと。当時は、新型コロナウイルスの感染拡大により、オンライン視察の形式をとったのだが、施設の責任者が画面の向こう側で語っていた『なぜ、充実した図書館が必要なのか』という話が強く印象に残った。

塩尻市では、子ども達が活字に親しみ、本と向き合うためには、どうすればいいかということに相当のエネルギーを割いていた。そして、その一環として位置づけられていたのが、市内全小中学校への専任司書の配置だったのである。

現在、真岡市でも小中学校の学校図書館に専任の司書を配置し、子ども達の読書指導にあたっている。しかし、その人数を見ると、小学校14校に4名、中学校9校に2名で、司書達は1校につき1週間で2日程度しか出向くことができず、各校を巡回しながら読書指導をしている状況にある。

私にとって母校でもある真岡中学校に、学校図書館のボランティアとして参加をしたのは6月下旬のこと。自分が通っていた頃と学校図書館の場所は同じだったが、その雰囲気の違いは一目瞭然だった。司書が様々な工夫を施しており、休み時間になると生徒達が気軽に足を運び、どんな本を読んだらいいのか、司書に相談をしている光景も目の当たりにし、何とも微笑ましい気持ちになった。

図書館整備を進めるにあたって の覚悟と哲学

問題は、その光景が毎日見られる訳ではないということである。

全小中学校に専任司書を配置している宇都宮市や芳賀町と、図書の貸出冊数で比較した場合、真岡市は1/2～1/3にとどまっているのが実情だ。専任司書を配置することによる効果は、明らかのように思える。ちなみに、文部科学省では学校図書館のあるべき姿として『いつでも開いている図書館、必ず誰かいる図書館』を方針の1つとして掲げている。

これまで真岡市教育委員会では『小中学校とも図書の貸出冊数が増加傾向にあり、十分な効果が出ていることから、専任司書の増員は考えていない』との考えを示している。そもそも、現在の状況の何を捉えて“十分な効果”と考えているのだろうか。

隣接する市町に比べて1/2～1/3…。それで十分というのであれば、志としてはあまりにも低すぎるよう思えてならない。

これまで真岡市では、学校教育課の中に指導係を設けて授業の質の向上に努めたほか、市独自の学力調査を行うなど、子ども達の学力向上に力を入れてきた。その一方で、日本国内を見渡すと、子ども達の学力向上を推進する上で、大きな課題となっているのが『読解力』であると言われている。これから、真岡市が学力向上の課題を一步先に進めていく上で、読書指導は必須条件ではないだろうか。

新たな図書館の整備を進める自治体の、覚悟と哲学が今問われている。

中村かずひこと 未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は
中村までご連絡下さい。

[振り込み先]

真岡信用組合本店
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会
代表 中村和彦

中村かずひこ活動日誌		
4月	5月	6月
10日 あいさつボランティア	1日 あいさつボランティア	5日 あいさつボランティア
16日 市議会議員選挙告示 (運動期間～4/22)	8日 あいさつボランティア 会派代表者会議 議会運営委員会 議員協議会	会派代表者会議 議会運営委員会 議員協議会 会派間協議
18日 「ひばりの会」総会	11日 わかば会総会	6日 一般質問の通告書を提出
23日 市議会議員選挙投・開票	13日 真岡東中学校運動会	8日 質疑・一般質問調整会議 ※その後、担当課とのヒアリング
24日 当選証書授与式	14日 15日	9日 NPO法人ドットジェイピーとの打ち合わせ
28日 栃木県戦没者合同慰霊祭 (於:栃木県護国神社)	春の交通安全県民総ぐるみ運動街頭指導 真岡市遺族会連合会総会	11日 真岡市消防団消防操法大会
	22日 あいさつボランティア 真岡新聞音訳作業 (『ひばりの会』の活動として)	12日 あいさつボランティア 6月定例議会開会
	23日 広報広聴委員会 明治大学校友会栃木県支部役員会 (於:宇都宮市)	15日 団塊ジュニア自治体議員オンライン鼎談 にのみやニッチ2周年パーティ
	24日 文光会スペシャルニーズセンターを視察 (於:さくら市)	17日 質疑・一般質問1日目 ※この日、4人目として登壇
	28日 子ども議会事前学習会	19日 20日 質疑・一般質問2日目 議会運営委員会
	29日 あいさつボランティア	21日 議会運営委員会 26日 あいさつボランティア 総務常任委員会／議会運営委員会
		27日 真岡中学校学校図書館ボランティア 28日 6月定例議会閉会／広報広聴委員会

